

手話言語の普及促進を目的に尼崎城などを青色でライトアップします

尼崎市は、9月23日から29日までの「国際ろう者週間」に合わせ、手話言語の普及促進を目的に尼崎城などを青色でライトアップします。

社会全体で手話言語についての意識を高めるため、2017年12月19日に国連総会において、毎年9月23日を「手話言語の国際デー」とすることが決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう、国連の加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進することとされています。

「手話言語の国際デー」に合わせ、世界ろう連盟は「手話言語にブルーライトを当てよう」イベントを立ち上げました。このイベントを機に、全日本ろうあ連盟でも、「世界そして日本を青色に！-手話言語をブルーライトで輝かせよう-」市民、地域、社会をひとつにチャレンジプロジェクトとして、全国各地の名所や施設のライトアップをすることで「手話が言語である」ことへの認知を広める取り組みが行われています。

本市としても、この取り組みの趣旨に賛同し、尼崎城などのブルーライトアップを実施することで手話言語の普及促進を図ります。

1 内容

(1) 実施期間

9月23日（月）～29日（日）

(2) 実施場所等

① 尼崎城天守（尼崎市北城内 27）

各日の日没後から午後11時まで（天守南側は午後9時まで）

② 阪神尼崎駅北側 庄下川にかかる立体遊歩道の滝

各日の午後6時から午後8時まで

③ 阪神出屋敷駅北側 バスロータリー内のモニュメント

各日の日没後から午後11時まで

2 参考

(1) 手話言語の国際デー

1951年に世界ろう連盟がイタリアのローマで設立された日に由来しています。手話言語が音声言語と対等であることを明確にするとともに、ろう者の人権が完全に保障されることを目的としています。毎年、テーマが決められており、今年のテーマは「手話言語の権利を主張しよう！（英語原文：Sign up for Sign Language Rights）」となっています。

(2) 国際ろう者週間

世界ろう連盟の主導のもと、1958年にイタリアのローマで始まりました。世界ろう連盟の最初の世界会議が開催された月を記念し、9月の最後の一週間が「国際ろう者週間」とされています。

毎年、世界中のろう者の家族、手話言語通訳者、仲間達などを含む、ろうコミュニティによるさまざまな活動が行われています。

（以 上）